

福祉だより

ぬくもり

●発行/北六甲台地区社協 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台地区社協広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東

北六甲台 & 上山口東の住宅街

第107号
2019年10月17日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

北六甲台小学校校福祉体験

車イス体験学習に参加して

九月二十五日水、秋晴れの下、北六甲台小学校で四年生を対象に行われた「車イス体験学習」のボランティア活動に参加しました。今年のボランティアはPTA会員二名を含めて二十名の参加でした。四年生の教室で、西宮市社会福祉協議会の上杉さんからの説明を聞いた後、いざ体験スタート。二人一組で車イスに乗る、押すを交代してコースを一周します。



に車イスを押した児童が押してくれている児童に「こっちに回った方がぶ

つからなくていいよ」とアドバイスをしていました。自分が実感したからこそ他の人にアドバイス出来る、「これこそ車イス体験だな」と、聞いて嬉しくなりました。担当の上杉さんが、「西宮市内で車イス体験を福祉学習に取り入れている学校は多くなく、な

緊張したアイマスク体験学習

九月二十七日（金）、北六甲台小学校四年生の児童が、アイマスクを使って目の見えない世界を体験しました。

車イス体験と同様、二人一組で教室をスタート。アイマスクをしている児童は、手をつないでリードしてくる相手の声を頼りに歩を進めます。最初の難関は、二階から一階へ降りていく階段。日頃、何気なく上り下りしている階段も目が見えない状態では不安げな様子です。階段を降りる所



まではうまくリードしていた児童も、踊り場でアイマスクをしている児童が足を止めると、声掛けに戸惑う様子も。社協のボランティアスタッフに声をかけられて、ようやく前に進みます。その後も下足室の長い直線コースから狭いドア

おかつ、こんなに地域の方のボランティアが参加されている所は他ありません。」と、感心しておっしゃっていました。社協ボランティア活動が、小さな子どもたちにも福祉の体験の大切さを伝えていければと思います。暑い中、ご協力いただきありがとうございます。（広報部 印南由紀子）

文化祭のご案内

【北六甲台自治会】
日時：11月1日（金）～4日（日）
場所：北六甲台コミセン・自治会館
【上山口東自治会】
日時：11月9日（土）～10日（日）
場所：上山口東自治会館



きのコースでしたが、全員無事に体験終了。子どもたちに感想を聞くと「目の見えない人がいたら声をかけてあげようと思う」とのこと。思いやりの心も育まれた様子に心が温かくなりました。（広報部 久慈薫）

文化祭・特別講座

認知症サポーター養成講座

【開催日時】11月2日（土）13:30～15:00
【会場】北六甲台コミセンA室
【講師】辻 生子（有馬地域包括センター）
【内容】基礎から学ぶ認知症
受講者には認知症サポーターの証のバッジを交付

北六甲台文化祭講座

旧・国鉄有馬線

開催日十一月一日（金）
時間十時～十一時
会場コミセンA室
講師日高昭夫（郷土史研究家・山口公民館講座講師）
かつて山口には蒸気機関車が走っていました。三田と有馬を結ぶ「旧・国鉄有馬線」を豊富な画像でビジュアルに紹介します。

第一回 福祉講座

驚きの「コマ」の世界



八月二十五日午後一時三十分よりコミセンで「驚きのコマの世界」と題して「福祉講座」を開催しました。西宮在住の枇杷絃一朗さん貴代子さんご夫婦をお招きして、おじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあ

さん、そして子どもたちを含め多世代交流の場として企画開催しました。お子さん二名を含め参加者二十二名でしたが、世界のコマをはじめ、日本各地の特長あるコマや幼い頃の懐かしいコマが紹介され、懐かしい思い

敬老お祝い訪問の報告

高齢者福祉部長 筑紫豊



今年も赤いベストを着用した社協の人たちが、手分けして敬老の日にお祝い訪問を行いました。四一四名の方を訪問し、喜んで頂けたのだと思います。同じ地域の方への訪問とは言え緊張するもので、インターホンを鳴らして「社協の敬老お祝い訪問です」と声を掛けると「ハイイチョット待ってね」とすぐに玄関に出てきて頂く方が多く、大変助かりました。女性の方の中には、訪問した先方で話しが盛り上がり、大変時間が掛かった方もいた様です。今年はコーヒーやお茶などと一緒にお召し上がり頂くための、美味しいお菓子をお届けしました。社協は「誰もが安心していきいきと生涯を暮らせる共生の町」を目標に活動を行っており、この訪問もその一環です。地域の皆さんと社協の人達が寄り添うきっかけになればと思い、来年も訪問させて頂きますので宜しくお願い致します。



講座を通じて今後とも地域の子どものための居場所づくりを、社協として

出のコマ回しの実演もあり、参加者もコマを手に遊びました。また昔話・桃太郎をモチーフにコマを使いながら物語を進行されていく実演に圧倒され感心しました。さらに、大きなコマから小さなコマが次々と飛び出し回転していったり、ブリキ製の手づくりの蛇をコマの芯につけた磁気を使って曲がりくねって進む蛇の動きの場面には拍手喝采でした。参加されたお子さんがいきいきとコマ遊びを楽しみ関心を示している姿に感動いたしました。

も考えねばと思いました。（研修部 生田収）

研修部の今年度取り組み

今年度の研修部福祉講座の取り組みを紹介いたします。

- ①「みんなであそぼうコマのあれこれ」（実施済み）
- ②「認知症治療と地域医療」（十一月十五日）
- ③「ミュージックセラピー体験第二弾」（令和二年三月十五日）

本年度も三回の福祉講座を企画しました。一回目は既に終了しましたが、二回目の今回は、日本の伝統のコマ遊びを通じてその歴史的な歩みや、日本や世界各地の珍しいコマのあれこれを紹介して頂き、実際に楽しく回す体験も味わい素晴らしい講座でした。二回目の地域医療は、我々の身近な問題を取り上げます。

三回目もシリーズ第二弾の講座をお楽しみください。（研修部 竹田勝）

「じいみや認知症つながりフェア」

認知症関連のミニ講座

九月十一日に、塩瀬公民館で第六回認知症つながりフェアが開催され、ミニ講座を聴講しました。

①「認知症の気づき」高年齢者あんしん窓口高須・齋藤さんの講演。

家族や周囲の人が「気づく力」を持ち「すべき行動」の知識を持つことであると説明されました。

②「成年後見制度と介護保険を活用して自宅で生活する」弁護士会阪神支部・藤田翔一さん、ケアマネジャー協会・西川圭一郎さんの講演。

独り住まいのお年寄りには成年後見制度は非常に興味深いテーマです。裁判所が選任し一度開始されると本人の死亡まで

にこにこ丸山カフェ出店！

「認知症つながりフェア」に、「にこにこ丸山カフェ」が出張カフェをオープン。温かいコーヒーで来場者をもてなしました。

講座の合間にホッと一息つけるカフェは好評で、わずか10分の休憩時間にたくさんの方が利用し、20席ほど用意した座席が足りない場面もありました。また、カフェと併設で北部図書館職員による「折り紙ワークショップ」や「東山台あったか見守り声かけ講座」などの映像紹介もあり、コーヒーを飲みながら、折り紙に夢中になる方、映像を観賞する方もいらっしやり、それぞれに有意義な時間を過ごされていました。

この日、参加したカフェのボランティアは折り紙で作るコマを習得。9月26日（木）の通常カフェで、利用者の方や参加できなかったスタッフに折り方を伝授していました。

（広報部 久慈薫）



継続されます。どのくらい費用がかかるのかとの質問には、裁判所へ依頼から書類作成、後見人への依頼でざっと十万円、後見人への対価は依頼人の収入により裁判所が決めるとのこと。



③「お金は大事です！年金の点検をしよう」社会保険労務士会・衣川智春さんの講演。

障害年金は、初診の証明が必要なこと、六十五までに請求しなければならぬこと、保険料の納付が難しいときの特例制度や納付猶予制度で老齢基礎年金に反映されない注意事項等、子や孫へ伝えることができました。

（広報部 小出晴浩）

認知症声掛け事例

車道を歩くおばあちゃん

早朝六寺頃、国道沿いの歩道を歩いていたら、車が走りかかろうとしたので、センターライン上を歩いているおばあちゃんを見つけた。車の途絶えた隙に駆け寄り歩道に連れ戻しました。

おばあちゃんに名前や住所や行先などを訊ねました。「〇〇です。姫路の家に帰るところです」。

しゃべりしました。以前受講した認知症声掛け訓練の講座での三原則「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」を念頭に笑顔で話しました。一五分ほどしてすぐそばのビルの駐車場に警察官二人を乗せたパトカーが到着しました。おばあちゃんを引き渡した後、あらためて住所、氏名、連絡先、発見時の状況等の聴取を受け、パトカーに収容されたおばあちゃんを見送りました。

帰宅して八時頃に最寄りの交番から連絡がありました。おばあちゃんとは私と同じ住宅街に住んでいる、名前と年齢を頼りに情報検索したところ以前のご家族に連絡し送り届けたとのこと。

それにしても街角でのスマホ持参が円滑な対応を可能にしたこと、また、住所不明の方の対応は、一〇番が迅速で有効なことを実感しました。

（民生委員 日高昭夫）



友だちつくるう

人形劇に大喜びの歓声

「何がはじまるのかな？」コミセンA室に突然現れた大きな舞台に、子どもたちは興味津々です。

子育てひろば「ともだちつくるう」八月のお楽しみ会に人形劇がやって来ました。夏休み中とあって、いつも遊びに来ているお友だちだけでなく、幼稚園や小学生の兄弟姉妹も沢山来ています。

さあはじまるよ！舞台にピエロの人形が現れました。ピエロ人形が次々と手品を披露し、最後にシャボン玉まで飛び出すと、子どもたちから歓声があがりました。



次の出し物は「うさぎとかめ」のお話し。かわい動物たちがいっぱい



出てきて、みんな大喜びでした。

素敵な人形劇を披露してくださったのは、人形劇団『ばくばく』の皆さんです。本格的な舞台装置も人形も全て十名のスタッフの手作りだそうです。小さな子育てひろばに「たとえお子さんが一人しか来なくてもやりますよ！」と言って来てくださいました。おかげで大盛況の一日でした。『ばくばく』さん！有難うございました。（子育て支援部 鈴木緑）

のびのび体操で転倒防止

八月一日、いきいき体操の後、高田上谷病院の理学療法士を講師にお招きし転倒防止のための「のびのび体操」を行いました。ストッキング材質のニメートル位のバンドを使い両肩に掛け、肩を上げたり下げたりを三〜五回繰り返す体操です。この体操は、①柔軟性

（硬く短くなった筋の柔軟性回復）②筋力（弱くなった筋、活性化が低下した筋の筋力回復）③バランス能力（筋の協調性低下によるバランス能力回復）④身体活動量（全身運動による）に効果があがり、転倒防止に役立つそうです。

（広報部 小出晴浩）

ボランティアセンターの四つの視点

まだ残暑厳しい九月二日、塩瀬公民館講堂で五日地区（北六甲台、山口、名塩、東山台、生瀬）のコーディネーターが一堂に会した連絡会があり、小地域福祉活動の意義や春風地区の事例「地区ボランティアセンター」の役割や大切にしたいことを学びました。

地区ボランティアセンターの大切にしたい次の四視点を再確認しました。

①身近な相談窓口・困り事を受け止める場

②住民だから出来る支え合いの仕組み

③サロン（ふれあい喫茶、

ともだちつくるう、青い空）などの地区社協の活動と連携した支援

④地域の支え合いの拠点

以上の視点を踏まえて地区ボランティアセンターは住民の気持ちに寄り添い同じ地区に住む住民として「何が出来るか」を考え支援する支え合いの場所です。足を運んでもらえるきっかけになればと掲載致しました。ほんの些細な困り事も気軽に相談して下さい。

連絡先 〇七八一九〇 四一四五七六

（ボランティアセンター 井上さち子）

赤い羽根共同募金の報告

ご協力有難うございました。

（速報値）

万代 14,670円
コープ西宮北 19,624円

合計 34,294円

第二回 福祉講座

日時：11月15日（金）14時～15時30分

場所：北六甲台コミュニティーセンター

内容：認知症治療と地域医療

今回は「医療法人内海慈仁会・有馬病院の精神科医、医学博士の谷口将吾先生」を講師にお招きしています。